

任 紗

兼任雅樂長兼掌典加故式部官兼掌典從四位岩倉具綱
任二等主稅官 大藏權大書記官正六位 佐伯惟鑒
大藏少書記官兼任事院員外議官補從六位 目賀田經太郎
任三等主稅官兼任參事院員外議官補如故
任大藏權少書記官 四等主稅官正七位 野中準
任檢事 四等警視兼一等警察使從七位 香取新之助
任司法權少書記官 鹿山貞義

時事新報
先ツ台閩ヲ占領セザルベカラズ
佛威冰師提督「クルベー」ハ一箇月計リ媽祖島ニ於テ開日月
ヲ消シタル後漢ク其運動ヲ始メ先ツ台閩ノ雞籠ヲ取り又滄
水ヲモ乘取リタリコレヨリ更ニ南方ニ進軍シテ台閩府ヲ取
リ打狗ヲ取リ全島ヲ擧ケテ佛蘭西共和国ノ所領トスルノ後
ニアラサレバ再ヒ復タ休息スルトナカルベキハ事ノ順序ニ
於テ最モ明白ナルガ如シ

去月中佛軍ノ舉動何故ニ斯クモ緩漫ナリシヤハ我聲ガ時々

佛國ノ東洋政略ヲ悅ハズレテ陰ニコレヲ妨害セントスルノ氣味アリシガ爲メナルベシ然ルニ今佛軍ガ其運動ヲ始メタルガ爲ルナ見レバ英佛ノ間ニ支那侵客ノ相談既ニ熟和シタルガ爲ハ埃及ヲ占領スベク佛國ハコレニ付テ異存ヲ唱ヘマソ佛國ハ安南ヲ占領スベク英國ハコレニ付テ異存ヲ唱ヘマジト瓦ニ相約諸シアリタルモノ、如シ然ルニ何ゾ圖ク安南占領ノ事ハ一變シテ支那帝國トノ萬藤ト爲リ近來ノ勢ハ支那ニ國ヲ舉ゲテ佛國ノ版圖ニ入ル、カ或ハ目下先ツ其一部ヲ佛國ニ與ヘ置キテ速カニ後日全帝國分割ノ準備ニ取掛ランナト云フ至極重大ノ問題ニ推移リタルナ以テ英人ハ俄カニヨリ英人固ヨリ英人ノ強慾ヲ惡ムト雖ニ其權勢ハ侮ルベカラズ且ツハ支那帝國ノ非ナ鳴ラシテコレニ敵對スル「モアラザル」ユニ十分ニ併呑ノ事マア約束シタル譯ニテモアラザル「モアラザル」ノ山ノ入リナガラ手ヲ空クシテ歸ナ促カサル、ノ想アリタリ此平ノ顏色ヲ爲シテ冤角佛人ノ處置ヲ悦バズ佛人固ヨリ英人恰モ好シ英人が埃及占領ノ功モ尙ホ未ク全ク成ラズ「スダン」ノ反賊起討ノ事ニ連レ埃及ノ財政非常ノ困難ニ陥シ先ツ埃及處分ニ關スル列國會議ニ於テ十分ニ英國ノ意ニ反対シテ敵意ヲ示シ次第又「アレキサンドリヤ」砲擊ノ金拂渡シテ迫リテ英國政府ヲ困ラセ因迫ノ極度ハ互ニ交シテ鎗銃を支那ニ埃及ニ其撃ヲ自由セントスルノ工風ナシ今ノ行キ掛リニ於テ當時休兵シテ安南ニ退去スル譯ニシテ如クスル有様ナルガ故ニ目下佛人ハ臺モ後顧ノ憂ナク分ノ力ナ支那侵攻ノ事ニ用フベキ時ニアラスト難ル左リ

二三千ノ兵ト十餘艘ノ軍艦アラバコレヲ以テ福州ヲ攻落シ
或ハ舟山ヲ乘城リ或ハ鎮江ニ攻入ル等一旦ノ勝チ制スルハ
固ヨリ容易ノ事ナフソ然レヒ一旦コレヲ攻洛シタル上ニテ
永ク其所ニ占據セントスルニハ縱令雨傘ヲ背負ヒ槍ヲ提ゲ
タル兵卒ナルニモセヨ支那兵ノ無數ナル雲ノ如ク集リ蝗ノ
如ク來リ到底斯ル小兵ノ能ク制シ得ベキヨアラズ舟山ノ如
キ其地位ヨリ論スレバ固ヨリ欲スベキ場所ナラント雖ヒ大
陸ヲ距ルト近キニ遇キ僅カニ咫尺ノ水ナ隔ソムノミナルガ
故ニ敵兵ノ渡來甚ク難カラズ是亦安全ノ地ニアラズ然ルニ
臺灣ハ大陸ヲ距ル凡シ四十里(日本道程)ノ洋中ニ在リテ地
味甚ク豐腴其氣候ハ大抵我沖繩縣ニ同シク冬季寒ニ避ケル
ノ地ト爲スニ最モ適ス其地理モ瓊州ノ如ク南海ニ偏セ又支
那沿海南北航路ノ中間ニ在リテ頗ル形勝ノ地位ナ占ム全島
ノ面積ハ我四國ニ比スレバ少シク廣ク九州ニ比スレバ少シ
ク狭キ儼然タル一要地ナリ今佛ハニシテ此地ニ據シシカ故
兵襲ヒ來フントスルモ涉ルニ船ナク飛ブニ翼ナク空シク
對岸ニ在リテ我陣營ノ炊煙ヲ望見シ轉タ範疇ノ情ニ堪エザ
ランノミ是則ナ佛國提督ガ其兵ノ力ナ計リテ先ツ台灣占領
ニ從事シタル理由ナラン加之佛人ハ縱令英人ノ爲メニ妨害
セラルトモ此儘何ノ獲ル所モナク空シク後ニ退カントス
ル覺悟ニアラズ必ズヤ此機ヲ失ハズ大ニ其地歩ナ東洋ニ占
メントスルノ決意ナルガ故ニ一旦後顧ノ憂サヘ除キタル上
ハ必ズ大ニ其力ナ支那侵略ニ致ストナラン今日コソ公然宣
戰ノ沙汰モナク曖昧ノ間ニ戰ヲ續ケツ、アリテ香港長崎等
中立國ノ港ニ往來シ軍需ノ欠乏ナ感セザルナレ正猶ヨ大舉
シテ支那ヲ攻ルノ日ニ至レバ是非トモ世界ニ宣戰シテ今ノ
如ク中立港ヲ利用スルノ便ヲ失ハザルベカラズ此時ニ至レ
バ柴棍^{チヤイゴン}ハ路遠クシテ不便少ナカフズ支那大陸ノ都邑ナ奪フ
モコレヲ守ルノ費少ナカラズ佛人ノ爲メニ倉庫タリ庖厨タ
リ病院タリ艦船所タルモノハ此台灣鳴ニ如クモノナカルベ
シ台灣サヘ占領スレバ其港以テ船ヲ入ルベシ其石炭以テ軍
用ニ供スベシ其材木以テ陣營病院ヲ築キベシ其穀類蔬菜魚
鳥羊豚以テ兵士ヲ養フベシ其人民三百萬内外ノ者ヨリハ從
來支那政府ノ治下ニ在リシ時ノ如ク貢租ヲ納メシメテ以テ軍
費ノ幾分ヲ補切セシムルナ得ベシ是亦佛國提督ガ台灣占
領ニ從事シタルノ一原因ナラン佛人既ニ台灣ヲ領セバ以テ
支那帝國ノ命ナ制スベシ此末如何ナルベキヤ我輩ノ甚ク開
心スル所ナリ

佛國公使館へ達したる電報なりと聞得たる所も左に如し
佛軍ハ臺灣ヲ占領シタル後清政府ニ向テ更ニ償金ヲ要求
シ清政府之ヲ肯セサレバ更ニ本國ヨリ四五萬ノ海陸兵ヲ
發派シ清國本州ノ攻撃ニ着手スル筈ニア其準備モ整ヒ居
レリ云々

○○○○上海電報 此程左宗棠ハ督辦福建軍務として南下せしに
佛軍之既に鋒を轉て對岸ある臺灣に向ひしかば左宗棠は
其部下の陸兵と分遣して劉銘傳、侯官兵と送りしものと見え
昨七日東京の或る方へ左の電報到達したり

○十月六日午後ノ時カ外上陸軍官事
○督辨補建軍務左宗棠ハ其部下ノ陸兵ヲ分ナテ臺灣ヘ差向
○タル由
又同日東京の咸る方へ達しシる電報ハ左記如レ

右の電報又由れば山東省又於て米國宣教師は殺害に逢ひテ
山東省ノ地ニ於テ米國耶蘇宣教師酒入ノ爲ニ殺害セラレ
タリ。

るものあること明なれども何等の事情に出で、斯く次第に立至りたるかハ知悉する由かし然し當時清國にてハ佛國と事わるの際無智は人民外人とわれば米佛夾猶れ區別なく之を嫉祝そるれ有様あれば或は佛人を嫉むの餘り毒刃と米國宣教師よ及ぼしるやも知れず後報にて其詳細を知るんのミ

○佛國の機兵 九月五日巴里發の報又水師提督クルベー氏ハ若し清國が速々佛國の申分に従ふるに於ては陸軍を用ひるを必要とするに付速に本國より敵發なりた旨と本國政府より上申しより之より依り佛國政府ニ一鎮吉代兵を東洋より派遣すべしと見又クルベー氏ハ大砲の彈薬より乏したを以て援兵の外に本國より弾薬の到着するを待居る旨を政府に申越したる由とあり

○宣戦を求むるに理由 先日の本紙上にクルベー提督が本国政府より早く開戦の布告なり度き旨を請求したる由と記せしが今又巴里某新聞の記する所を見るにクルベー氏は今

は如く他國の船舶が佛艦は目前にて自由に清國に軍器を運送せることを得る間へ敵に對して充分の勝利を得る事能くなるれば直ちふ宣戰ありたき旨を主張せりと

○巴里駐米國公使 巴里駐英美法德西等國公使
首相フエリー氏が承知れ上にて米國が佛清に間に立入りて
仲裁と爲せは今日と以て好機會なりとすと華盛頓政府に報
知しよりと九月五日巴里發の報に見ゆ但九月五日の清國に

で價金を拂ふとに付て上習せる者は何人を問はぞ嚴刑に處せしとれ上諭を發したる時なりし
○小汽船の需要増加を、廣東は防務官が珠江に石船を沈め

て通路を狹めたるに付き洋海を航せる大船へ黄埔より上陸
よ進ひと能ひず依て廣東城下と水築との間を往復する輕船
を曳く爲めには小蒸汽船と用ゐるを必要とする事となりて
る。わざ番組にて之小汽船の需要大に増加し尙頃既に六七

佛清事件

○佛軍の方略 佛國艦隊ハ大舉して臺灣に向ひクルベ一提督は既に進籠と占領しレスベ副提督も淡水を攻撃して今度ハ既に占領せし事ならん然るに佛軍今回ハ目的は臺灣全島を占領し更に賞金と申出さんとするハ方略ありと見ゆ東方